

学図研・東京支部 2019年度活動報告

2020年6月28日

【支部会】

今年度、学図研東京支部では、支部会がほぼ毎月1回実施された。2019年6月の支部会では前年度の総会が行われ、活動報告と活動方針が確認され、全国委員1名、会計、会計監査が交替した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月の支部会は中止とし、4～6月の支部会はオンラインで実施した。鳴川浩子さん、歌川美歌さんのご協力により、Webexを利用した支部会をおこなった。

7月は神奈川大会の分科会の準備と流れの確認をおこなった。9月は神奈川大会の報告、富山大会に向けての話し合いをおこなった。10月は都立多摩図書館グループ閲覧室を会場に、障害を扱った海外文学を紹介し合った。11月も都立多摩図書館グループ閲覧室にて、世界の文化・宗教・多様性をテーマに書外文学を紹介しあった。

12月はポプラ社教育コンテンツ編集部の齊木小太郎氏をお招きして、『ポプラディア』の利用指導について実施した。『ポプラディア』や会場校の蔵書を使い、児童向けの利用指導を実際に体験しながら学んだ。

1月は図書館とゲームをテーマに、福家さんに現状を紹介してもらい、参加者でいろいろなゲームを体験した。2月は「著作権」について考えてみよう」をテーマに、東京理科大学教授の宮武久佳先生に講演をしていただいた。その後、東京学芸大学附属世田谷中学校の原口直先生に音楽の授業における知的財産権の授業を紹介、渡邊裕先生から調べ学習における著作権の話をしていただいた。

3月は童心社の見学を予定していたが、中止となった。4月はオンラインで本の紹介と新型コロナウイルス対応など情報交換をおこなった。5月はオンラインで、今後の支部運営について検討し、情報交換を中心に困っていることなどを話し合った。

【全国大会】

神奈川大会では、支部として分科会「物語からつながる世界～翻訳小説の魅力に迫る～」を担当した。

【役員体制】

支部二ユースは、歌川編集長を中心に、村上恭子さん、宮崎伊豆美さん、田中美智子さんの副編集長のもと、大変充実した内容となった。支部会の報告だけでなく、さまざまな報告が記録され、会員の動静を知る重要なものとなっている。会計は谷口裕美子さん、印刷発送・メーリングリスト担当は佐々木愛さん、HPは山崎清子さん、会計監査は豊泉聡美さん、支部代表は千田つばささんが担当した。

全国事務局次長（HP担当）は青野由美さん、全国事務局次長（渉外担当）は鳴川浩子さん、全国委員は横山寿美代さんが担当した。

【その他】

7月15日～8月31日に第8回「東京・学校図書館スタンプラリー」が実施され、支部会員も多数参加した。

他団体との連携としては「東京の図書館をもっとよくなる会」に、世話人に菊池保夫さんを派遣した。